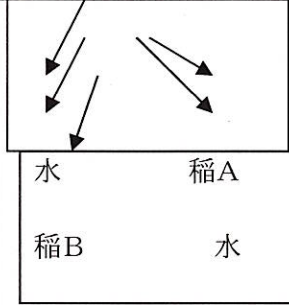


川東龍神伝説

姫神センセーション
「社」



水が入って田植えが始まる。
水 耕す人 田植え

稲 A…耕す→田植え→稲
B…水→田植え→稲

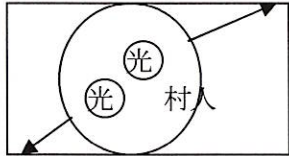
姫神 時を紡いで
「風の祈り」



水がなくなり稲が枯れる
稲 水

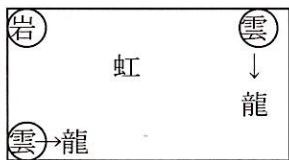
龍子姫と村人が天の母龍に雨を乞う。
龍子姫が一人で祈る。
村人と三人で祈る
村人十数人といっしょに祈る。
村人全員で祈る

喜多郎
Thinking of You
「Space Te」



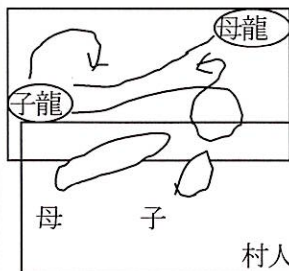
二つの光の玉が出現する。
光 村人

まぶしそうに



虹がかかり岩が砕け、龍が出現する。
虹 岩は静止して待つ。

ブリッジを順にしていく。



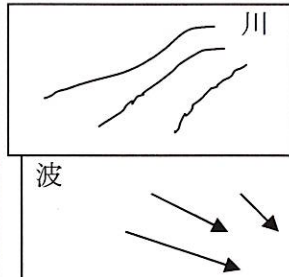
岩 側転したり転がったりして
飛び散っていく。

雲 雲が龍の形に 龍が通った所は、
変わっていく。 岩が飛び散る。

龍がうねり、雨が降り始める。

雨が降り出したのを
喜ぶ村人。

喜多郎
Thinking of you
「Del Mar」



雨が川になり、その川の水が龍満池に満ちる。
3本の川の流りができ、
全員でうねる。

龍満池に満々とたたえられた水。

全員が水になって退場する。

ある年の夏、川東には一粒の雨も降らず、田畑の作物は枯れはじめ池の水も見る見るうちに減ってしまいました。そこで、龍子姫は天上の母龍に向かって、「村中のみんなが困っています。どうか、雨を降らせてください。」と頼みました。やがて、空には、黒い雲が出てきて雷が鳴り、たちまちどしゃぶりの雨が降り始めました。あっという間に池の水もいっぱいになり、田畑の作物の生き生きとよみがえりました。
そんな川東の龍満池に伝わる伝説を心を込めて表現します。